

市民検討会議の  
みなさんの感想

2

相  
心

年

い

問

の

今回の会議に出席させていただいて職員と共に基本条例を作り上げられたことは大変良かったし、これからのまちづくりの原点といえるものをあれだけの期間かけて作り上げられて、人と手間をかけて一つのかたちに出来たことに重みを感じるし、感無量である。今回素人だった私でも得られた知識はある。しっかりとかみしめたい。

自治会長をさせてもらってから、まちづくりの大切さを知り、まちづくりに、協力する為、他地域の役員さんの、活動を勉強させてもらう為、検討会議に参加しました。参加委員の時間を忘れての討議、休日返上しての、職員の参加、事務局の整理された山のような会議資料、私にとって、貴重な経験をさせていただきました。

三市町が合併して三年目。何か一つにまとまっていく方法はないものかと思っていた時期、まちづくり基本条例市民学習会に参加させていただきました。何回かの出席ではありましたが、今後の燕市にとって大事なことと切に感じ、検討に参加した次第です。

今後、市民の方々に周知され、御理解いただけることを願います。それが、委員全員の願いであると思います。

市民として何ができるかを視点において、市民参画・協働をキーワードに意見を述べ、条文に反映させていただきました。

内容の評価は市議会や市民に委ねるとして、学習会を含めて約3年間を費やした「市民による市民のための燕市まちづくり基本条例」の策定に参画できたことに満足をしています。

最初は、基本条例と硬い感の名前に抵抗があったが、討議を重ねるうちに意図を理解し、奥の深い内容に気がつきました。一見普通の文に見えますが、よくよく考えますと今の燕市の現状と将来に期待を込めて、なお機関や団体およびコミュニティーに配慮した無理のない討議結果だと思います。また、メンバーは、価値観を共有し、一員であることを良かったと思う。

私は一年間に及ぶ「まちづくり基本条例市民学習会」には一回の欠席もなく参加をしました。この中で検討会議への参加は止めようと思っていました。しかしあるグループからの参加と云うことで参加することとなりました。一方で私は、「まちづくり基本条例」は今後の生活を大きく関係づけることの認識は持っていました。

民主的な市政の運営の中で、「まちづくり基本条例」が作られ、それが実践されれば、私たち市民の求める行政が実施され、すばらしい「まちづくり」が実践されると考えました。そんな考えがある中で「まちづくり基本条例市民検討会議」に参加することとなりました。法律や行政のしくみなどに精通していない私たちが馬場先生のアドバイス、事務局のきめ細やかな運営の中で、こんな「まちづくり基本条例」を形にすることが出来たことは感無量であります。「この条例案」が実施となった場合は、市民の皆さんから十分な理解と認識を頂き、そして行政と市民が一体となり、協働することにより日本一輝く燕市となるよう、私も大いに参加をして行きたいと思えます。

今回燕市市民検討会議に参加するに当たり葛藤がありました。あまりにも年令を重ね過ぎたため発想が乏しく、価値観の多様化に対応できるかとの思いでした。しかし市民検討会議の前段で学習して培った宝物を無にしてはとの思いと自治会及びまちづくり協議会に関わっていることが生かせるのではないかと思い決心しました。

検討期間苦しい事、楽しかったこと、いろいろありましたが、馬場健准教授の指導のもと行政側の献身的な方向付けと委員の共同作業により提言書が出来あがったこと、自分自身の微力を忘れて喜んでいきます。

街並みが変わっていくこと自体、私にできるかしら？協働して取り組まないと燕市は発展しないと思えました。これは言ってみれば活性化する、まちの将来像だとぴんと来ました。

まず参加の動機は、市役所の担当者から「まちづくり基本条例」についての検討会をやるので参加して貰えないか、との電話があり、ちょうどその頃ある会議で条例に関する問題がでていて、これはチャンスと思いすぐ参加することを決めたのが、動機でした。会議が始まり、最初のうちは、進行が遅く何時になったら、本題に入れるのかといらいらすることもあったが、だんだん進めていくうちに、事務方の進め方の趣旨がわかり、またその都度、前に検討した内容が配られ、検討会としては、非常に、よかったのではないかと思います。かくまとめ上げた後に、一般市民にいかに関し、いかに守らせていくかが、今後の大きな問題として残る。

16回もの会議を通して、市民の皆さんの情熱を感じた。2回の班編成を経て少なくとも参加した人達は信頼関係が生まれた。これが、まちづくり基本条例の一步と感じました。事務局の皆さんご苦労様でした。

ワークショップ形式での会議は経験が殆どなく、最初はどうなるのか、とっても不安でしたが、参加されている方々は皆さん好意的で的外れな意見や平凡な意見に対しても耳を傾けて頂き、建設的な議論となって行ったと思います。この条例の検討に参加できたことは大変有意義であったとともに、関係者の皆様方へ感謝申し上げます。

私は、まちづくり基本条例の検討に参加して様々な事を学びました。自分の立場や考え方とは全く違う意見を聞いた事で、自分の考え方がより広くなったと思います。また、検討会議の回を重ねるたびに、話合っって一つの目標を達成する事の楽しさや難しさを強く感じました。

こんなに雰囲気の良い会議は珍しいのでは。終了時に自然と起こる拍手が、休みの日でも気分よく会議に足を向かわせました。また、それまで会話をしたことの無い市の若手職員が、市民の皆さんに対して積極的に自分の考えを発言している姿にたいへん刺激を受けました。

会議に参加して、2カ年に渡る「検討会議」も早いもので終了となり、様々な意見を聴き、大変勉強になりました。また、我々の意見を集約して取りまとめた事務局の方に感謝しています。この経験をもとに、これからの「まちづくり」に市民の一人として行動したいと思います。お世話になりました。

御苦労様でした！と同時に条例が承認されたのちは、明るいまちづくりに向かって再スタートです。

長丁場でしたが、皆さん一生懸命に取り組んでおられました。特に担当された市職員のやる気には感心させられました。これからも市民全員で明るく住みよいまちづくりを目指して、大空に向かって羽ばたきましょう！

テーマが大きすぎて、最初はイメージが湧かなかったが、会議を重ねていくうちに全体像が見えてくると、燕市にふさわしい条例が出来上がったと感じました。今後は、この条例が多くの方に浸透していけば、きっとすばらしい「まち」になると思うし、なってほしいと思います。今回の検討会議に参加できたことで、とても勉強になりました。

「職員委員のリーダーは係長のはずなのに、どうして主任の自分なの？」。もやもやした気持ちでスタートしましたが、何とか皆勤のままゴールできそうで、それだけは誇れます。間近で見た事務局のご苦労は想像を絶するものでした。どうか無責任な外野の声に屈することなく、堂々と胸を張ってください。決して「燃え尽き症候群」なんかにならないように！

公共関係者と民間では大変考えが異なると思います。今まで広報などで受ける市民の集いの実感は市役所を中心としたイメージが非常に強く、なかなかその状況を知る事は難解でした。

各々の立場の特性を活かし、今こそ、この地域の歴史の奥深さに目覚め、各々の立場で喜び合えるまちづくりを語り継いでいけたら素晴らしいと思います。

まちづくり基本条例の検討に参加しまして、市民の皆さんと一緒に考え、何かを作り上げていくことが、いかに大切かという事を実感いたしました。

今後のまちづくりは、行政のみでは成り立たない時代となってくると考えます。今回の経験をきっかけに、住民協働についてさらに理解を深めたいと思います

参加された委員の皆さんから、まちづくりに対する思いや地元での出来事など、興味深いお話を聞くことができました。燕市をより良いまちにするために必要なことは何なのか。この「まちづくり基本条例」が、そんな思いを向けるきっかけになれば嬉しいことです。

二年間に渡り、同じ議題に対して、沢山の人達と話し合い、作り上げた「まちづくり基本条例」がとっても重く、大切に思われてなりません。まちづくりに沢山参加し、協力し合い、手を結び合う事が出来たら「住みやすい、明るいまち」になるのではないかと希望がわいてきます。ぜひ沢山の方から理解してもらえるように力になりたい。

会議に出席するたび、市民のみなさんの「まちづくり」へ対する熱い思いを、すごく感じる事ができました。

私は、日頃の業務で条例の審査に携わっていますが、一から条例を策定したことは今までありませんでした。市民のみなさんと一緒に条例素案を策定することができ、とても良い経験になりました。

燕市の将来をこんなにも前向きに考え、真剣に議論し合った市民委員・職員委員と皆さんと出会えたことが喜びです。ふるさと燕市の良さを再確認し、次世代に引き継ぎ、さらに発展させるための条例にしたいと考えました。この会議に参加させていただき、本当によかったと思います。

限られた時間の中で各委員の意見を集約しグループの発表を行うことの難しさを実感したが、こうした過程こそが「協働」ということなのだと思う。多様化する価値観の中でよりよいまちづくりを行っていく上での貴重な経験となったと思う。

グループ内の意見交換ですが、メンバーによってその雰囲気が大分違うものだなあと感じました。当初、グループの再編成はしない方がよいという意見も結構あった中で、実際には再編成がされ、よかったと思います。それにより少しでも多くの市民公募委員の意見を聞く機会が増え、また違った雰囲気のグループ討議を体験することができました。

いつも真剣に考え、いろいろな立場から活発な意見が出されており委員さんのもつ力の大きさを感じています。はじめて出会った委員さんも多くおり、私にとってはこの2年間委員さんと楽しく話し合った時間がとても有意義でした。

これからも人との出会いを大切に、まちづくりについていろいろな人と話をしていきたいです。

当初は、条例作成のお役に立てるのか不安に思ったこともありましたが、燕市をより良くしたいという思いが反映された条例素案が完成し、本当に嬉しいです。市民の方々のまちづくりへの熱い思いに触れ、身が引き締まる思いがいたしました。素晴らしいメンバーに恵まれて、条例作成に携わらせて頂いたことに心から感謝いたします。

2年間にわたり、  
たいへん  
ありがとうございました。  
ございました。